

MIMATA

PublicRelations



魔法の玉手箱を開けよう。

10 特集 **にぎわいの連鎖**
～温故、造、新～

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan
花と緑と水のまち
宮崎県 三股町

MIMATA PublicRelations 10 Vol.494

広報みまた 平成23年10月1日号

あとは野となれ 山となれ

作／水谷 龍二
演出／高瀬久男(文学座)

主婦にも定年があって然るべきだ。赤城万里子、当年とって五十五歳。ようやくその時が来た。万里子は離婚覚悟で家を飛び出した。飛び込んだ先は、十年前から願っていた。旅一庫である。そこにいたのは、座長の千羽旭と、若い女座員が一人。座長の暴走に、みんな辞めてしまっていた。そして、三人のてんやわんやな同居生活が始まる。



日時 10月25日(火)
開場:午後6時30分
開演:午後7時
会場 三股町立文化会館

料金 一般▶3,000円 4人▶1万円 ●就学前の児童の入場はご遠慮願います
ベ ア▶5,500円 5人▶1万2,000円 ●全席自由
金 3人▶8,000円 ●電話予約可 (一般・ベアのみ)
[3人・4人・5人チケットは「組数限定・窓口販売のみ」となります。]
★チケット発売中(お早めにお求めください)

主催/三股町・三股町教育委員会
お問い合わせ・チケット販売/三股町立文化会館 Tel.0986-51-3462



African Kora

アフリカン・ハーブ【コラ】癒しの響き

川岸 宏吉【Kora・Kalimba】
上之園謙治【Drums・Percussion】

料金
一般.....1,500円
小中高.....500円
ベ ア.....2,000円
(前売りのみ)
未就学児.....入場無料
全席自由★電話予約可

会場:三股町立文化会館
主 催:三股町・三股町教育委員会

お問い合わせ・チケット販売:三股町立文化会館 Tel.0986-51-3462

プログラム
★イマジ
★インマイライフ
★スカボロフェア
★エリナプランケット
(アイルランド民謡)
★千の風になって
★故郷
...ほか、オリジナル曲

Kora【コラ】
コラ(kora)は、西アフリカが発祥のリード型撥弦楽器。セネガル、ガンビア、マリ、ギニア、ブルキナファソなどの国々で300年以上に渡って受け継がれてきた伝統的な民族楽器で、特にセネガルとガンビアに代表される。長いネック、ヒョウタンの共鳴胴、そして21本の弦が特徴。ハーブやギター原型とも言われ、アフリカの民族楽器の中でも最も美しい音色を持つとされる。

発行:三股町役場 編集:地域政策室
TEL:0986(52)1111 FAX:0986(52)4944
〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1-1



おはよう、わが町

地域×演 三股をもっと、好きになる。

あなたが何気なく送ってきた暮らしが舞台。三股に暮らす一人ひとりが「主人公」です。地域の皆さんの力で「三股の明日を、芸術文化の明日を拓く」そんな演劇作品に、挑戦します。

内容/アメリカの劇作家ソントン・ワイルダーの不朽の名作「わが町」をベースに、三股町の昭和30～40年代のそれぞれを舞台にした、三股町オリジナルの作品です。

三股町の当時の雰囲気や世相を取り込みながら、「普通の人々の、普通の暮らし」を描いていきます。「出演者は一般公募で集まった町民の皆さん。音楽・台本も、町民を中心につくり上げ、芸術文化の地産地消」を目指します。

観る方も演じる方も、「わが町、三股」を今よりもっと好きになる。そんな作品です。

日時/12月24日(土)・25日(日)
開演/24日:午後7時(予定)
25日:午後2時(予定)

会場/三股町立文化会館
主催/三股町・三股町教育委員会
問い合わせ/三股町立文化会館
0986-51-3462

三股町立文化会館自主文化事業 ●お問い合わせ・電話予約/三股町立文化会館 Tel.0986-51-3462 / Fax.0986-51-3561

にぎわいの連鎖

「温故」造「新」



本町の玄関口であるJR三股駅。その周辺地区には、役場庁舎をはじめ、体育館、文化施設、各金融機関やスーパーなどが軒を連ねています。以前は、この地区が中心となって本町の発展を進め支えてきました。

しかし、時代とともに、わたしたちの生活も大きく変わりました。車社会への移行、大型店やコンビニの進出、ニーズの多様化…。いつからか、三股駅前には、以前のようなにぎわいを見ることはなくなってきました。現在、駅の周辺は閑散とした雰囲気が漂っています。

町は、以前のようなにぎわいを取り戻そうと、駅の改築をはじめとして、現在さまざまな取り組みを行っています。

今号では、わたしたちのまちの「にぎわい」について考えます。

※「温故“造”新」とは、古き良きものを大切にしながら、新しいものを造っていこうという造語です。



駅が存在は、まちの発展へもつながった（昭和40年）



三股駅前の通りから東側へと続く商店街通り沿いの様子（昭和42年）

温故

「古き良きものを大事にする」

「昔の「にぎわい」

「以前は、『駅通り』と呼んでいて、いろいろな店が並んでいました。旅館もあったように記憶しています。わたしもよく茶わんなどを買いに行ったり、本屋へ行ったりしていました。とってもにぎやかでしたね」。新馬場在住、今年101歳を迎えた横山ミツエさんは、当時を振り返り、懐かしそうに話します。「買い物ついでに近所の人たちと世間話をしたりして…。でも、今はどの店もなくなっちゃって、『駅通り』も静かで寂しくなりましたね」。

ミツエさんが思い出として話すにぎわいは、車社会への移行など、わたしたちの生活スタイルの変化とともに姿を消してしまいました。現在は、人が行き交う姿はほとんど見られず、閑散とした雰囲気が漂う駅前周辺。かつてのにぎわいは、わたしたちに一体何をもたらしたのでしょうか。

「にぎわい」から生まれるもの

「にぎわいは、人の行き来から生まれる」と、ミツエさんは話します。「昔は車がなかったもので、みんな歩いて買い物へ行っていました。道ですれ違う人とは必ずあいさつを交わしていましたし、世間話をしたりして…。今思うと、それも一つの楽しみになっていたかもしれないですね」。

現在でも、店舗の数は減少したものの、駅前から続く商店街の店内からは、こんな会話や光景があります。「元気でしたか」の掛け声は日常茶飯事。買い物客の顔を見た瞬間に「奥さん、今日も2つ



以前の三股駅周辺について思い出を語ってくれた横山ミツエさん（新馬場在住／101歳）

でよかったですか」と商品を包み始める店員。買い物客も「お願いします」と笑顔で答えます。その光景には、積み重ねてきた、店員と客との信頼関係を伺えます。

こういった会話の中で生まれ、積み上げてきた信頼関係は、短い時間ではとうてい作ることはできないものです。人の行き来は人と人とのふれ合いを作り、会話を生み、その会話は「人と人とのつながり」「人と地域とのつながり」を生みます。そうして作る信頼関係は、「にぎわいは、人の行き来から生まれる」ということを教えてください。



帰りによかもんやで買い物をする
「よかもんツアー」の参加者



第50回を迎えた「よかもん市」では、
高校生が作る赤飯が振る舞われた



毎月第4日曜日に開催している「よかもん市」

造新

「新しいものを造る」

駅前周辺への集客方法など、町商工会は新しい人の行き来を作り出そうとしています。その取り組みは、まさに「造新」です。

町商工会（佐澤靖彦会長）は、県内で初めて「地場産品部会」という組織を立ち上げました。この部会は、農・商・工の連携を推進し、地域資源を活用した新商品・加工品の開発、また地場産品のPRや販路開拓などを日々追求しています。現在は、毎月第4日曜日に「よかもん市」（朝市）を開催し、地元の農産物や特産品をより多くの人たちに知ってもらい、手に取ってもらう機会を作るなど、さまざまな取り組みを行っています。

オンラインワンを目指して

町商工会の佐澤靖彦会長は、「お客さんを待っているだけではダメ。来てもらえるように、こちらから仕掛けていくことが大事」と話します。「さまざまな面で『話題性』

点をよかもんやに設定し、参加した皆さんにその存在を知ってもらい、特産品を手にとってもらう機会を増やしていく、こういった工夫も取り入れていると言います。「今後も皆でアイデアを出し合い、いかに『人が集う場所』を作っていくか、そして『また来たい』と思ってもらえる場所を作ることができるか、今後の課題です」と話す佐澤会長の思いは、よかもんツアーで買い物をした人が、リピーターとして訪れるなど、少しずつ形になってきています。「この商品は間違ったと言ってもええような、信頼関係を築いていきたい」。オンラインワンを目指す佐澤会長の言葉に力が入ります。また、地場産品部会会長の山下盛親さんは、「時代のニーズを的確に把握し、それらに応えていくことが大事」と話します。「人口が増加している本町でも、その年齢別の割合をみると、高齢者の比率が増えているという現実があります。車を運転できない高齢者は、遠くまで買い物へ行くことができないため、今後ますます買

を作るのも、仕掛けの一つ。例えば、高校生たちが作った商品を並べることで、生徒たちが汗を流して作った商品がこでしか買えないとなれば、わざわざ足を運んでくれる人もいるのではないかと考えます。こういった、こでしか買えない商品を並べることで、よかもんやに付加価値をつけることが大切なのです。また、生産者の写真や製造工程などを書いたものを商品に貼るなどして、より透明性を目指すことも大事。相手の顔が見えることで、消費者側も安心して購入できると思いますし、生産者側も一層気を引き締めて取り組むでしょう。相手の顔が見えないインターネットを使えば日本中の商品が手軽に買える今の時代だからこそ、『こでしか買えない』という付加価値をつけること。そして『相手の顔が見える』という安心感を提供することは、これからより一層求められることだと思います。このまち独自の集客方法を考える佐澤会長は、町観光協会主催の「よかもんツアー」（このま

ちの魅力再発見の体験型ツアー）の企画の中で、到着地点や出発地を配達しながら、出荷する農産物を回収していくという方法など、何らかの良い手立てがあるのではと、現在模索しています。配達したり、回収したりする中で、そこから会話が生まれ、広がっていくかもしれません。地域全体を包み込むことができるような、このまちならではの方法がきっとあるはず。これから先もずっと、わたしを含め、皆が安心して暮らせるまちにしたいですね」。

商工会の2人は、その立場からこのまち独自の集客方法などを考え、新しいにぎわいを作り出すことに挑戦しています。

商工会の2人の言葉には、このまちに暮らす一人の町民としての思いも詰まっているのです。



地場産品部会と朝市の出店者で、
集客方法などの協議を重ねている



安心して暮らせる将来を見据える
地場産品部会会長の山下盛親さん



三股独自の集客方法を検討する
町商工会会長の佐澤靖彦さん



長田地区在住
安原一成 さん

長田地区に住む安原一成さんは、町が募集している「みまたんえき周辺にぎわい再生検討部会」の実行委員の一人に自ら手を挙げ、活動した経験を持ちます。安原さんは、活動を始めたきっかけや経験を通して、こう振り返ります。「埼玉県から長田地区の自然に魅せられて引っ越してきましたが、この地区をより一層魅力的な地区にするため、何とか盛り上げる方法はないかと考えていました。そんな時、駅前周辺活性化の話を聞き、長田地区を盛り上げるには、まず中心部の駅前周辺から活性化してもらわないと始まらないという気持ちもあって、実行委員に手を挙げました。実行委員会では、イベントなどの企画運営を行い、世代を越えて委員同士の交流も図れ、とても楽しかったですね。イベントなどで人が集まる

きっかけを作り、人が行き交えば、そこから交流が芽生え、生まれるものもあると思います。これからも、皆さんの期待を持ってもらえるようなイベントなど、人が集まるきっかけ作りをしていくことが大切だと考えます。三股町には、駅のすぐ近くに整備された無料の駐車場があります。駅の近くに無料の駐車場ってなかなかないと思いますよ。そこを利用しない手はないですし、ロータリーなどもうまく生かしていきたいですね。駅は、大通りから一本奥へ入っていますので、そこを歩行者天国にして大きなまつりやイベントなどをする 것도可能ではないかと考えたりもします。皆が知恵を出し合えば、これから可能性は十分にあると思います。駅前が整備された今が、可能性を広げていく時ではないでしょうか。



整備された駅西側駐車場



多目的広場



産業会館



改築後のJR三股駅



改築前のJR三股駅

一新

降り立ったその瞬間から、
三股町を感じることができ
空間にしたい

町の取り組み

三股駅前周辺の閑散としたイメージを払拭するためには、三股駅の老朽化した建物を一新することが不可欠と考え、町はJR三股駅の建物を買取り、改築。平成21年4月、現在の「みまたんえき」へと生まれ変わりました。さらに、地場産品などの特産品をはじめとして、さまざまな三股町の魅力をまちの中心部から発信していくため、駅の東側に「産業会館」を建設し、また、さまざまなイベントに使える空間として「多目的広場」を整備しました。さらには、交通を結ぶ要としての「コミュニティバスくいまーる」の施設整備や、「みまたんえき」をより利用しやすくするために、西側駐車場の整備や駅前周辺地区への誘導看板などの設置を行っています。

一方「みまたんえき周辺にぎわ



い再生検討部会」という組織を作り、駅舎内の多目的ホール（M☆ウィング）や多目的広場などを活用し、各種イベントなどを実施。部会員たちは、駅という場所を最大限に生かし、時にはその枠を越えて「皆が集まりたくなる場所」を作ろうと思考を凝らします。そして、ユニークなアイデアで、これまでも子どもも大人も楽しめるような、いろいろなイベントを行っています。

にぎわいの連鎖

最終到着点は、町民皆の笑顔

人と人のふれ合いを大切にして
いる人たちがいます。新しいもの
に着目し、取り組み人たちがいま
す。駅から発進したにぎわいが、
まち全体へ広がることを思い、自
分にできる範囲で行動する人たちが
います。「にぎわい」とは、こ

うした人たちの思いが重なり、広
がっていくのです。それらがある
限り、わたしたちのまちは少しづ
つでも前へ進んでいきます。

「にぎわい」の原点は人の行き来。
そこから生まれたふれ合いや会話
から、皆が元気になり、笑顔にな

る。そんな単純なことが、にぎわ
いの第一歩です。そして、それは、
誰でもない、ここに住むわたした
ちにしかできないことです。

「にぎわい」とは、わたしたちの
会話から、そして笑顔から始まる
のではないのでしょうか。



にぎわいの連鎖
～温故造新～



「現在は町の西側に人口が集中し、このままでは、駅前を含めた町の東側はますます人口が減少し、にぎわいがなくなってしまいます。かつて町の中心であった駅前を整備することで、その周辺が活性化され、ひいては町全体の活性化につながると考えます。町は、駅舎の改築などの整備をはじめとし、当初計画していた整備を終えました。しかしながら、景観を考えますと、ロータリーの整備、空き店舗の解消、カラー舗装の整備、電柱の地中化など、まだ取り組めることも多くあります。財源などの問題もあるためすぐには難しいですが、より有利な方法を選択しながら、計画的に取り組むことが大切です。駅前周辺地域への『人の行き来』を考えますと、現在にはにぎわい検討部会が中心となった駅舎の利用や広場の利用のみで、利用頻度が少ないと考えます。今後は、よかもん市（朝市）のように、町民の皆さんがが楽しんで集まれるイベントやアイデアが必要になってきます。そのため、圏域や町のイベントの誘致、また町内のいろいろな団体に利用促進を図っていきたいと考えています」



町地域政策室
西村尚彦 室長



洗練された音色に会場中が包まれた
ヨーロッパとラテンアメリカ「音楽紀行Ⅱ」



繊細かつ迫力ある演奏で会場を魅了した
「西藤ヒロノブ JAZZ TOUR 2011」



©問い合わせ
三股町立文化会館
〒889-1901 三股町大字樺山3404-2
TEL.51-3462 FAX.51-3561

「音楽紀行Ⅱ」

8月28日、ヨーロッパとラテンアメリカ「音楽紀行Ⅱ」を開催しました。1月にも開催した「音楽紀行」。町内在住の愛川義夫さん（クラシックギター）、MIPPの稲田竜斗さん（ヴァイオリン）、稲田由香里さん（ピアノ）に、今回は戸高知也さん（チェロ）を加え、「パートⅡ」として開催しました。初演からのコンセプト「誰もが一度は耳にしたことのあるクラシック」をメインに構成していくプログラム。第1部はヨーロッパの部と題し、フィガロの結婚（モーツァルト）やスペイン舞曲（ファリャ）などを演奏、続く第2部はラテンアメリカの部と題し、フーガと神秘（ピアソラ）やラクンパルシータ（ロドリゲス）などが演奏されました。会場中に響き渡る、洗練された音色に身を委ね、穏やかに流れるひと時。夏の終わりを感じさせるコンサートとなりました。

「Hiro JAZZ TOUR 2011」

9月7日、「西藤ヒロノブ JAZZ TOUR 2011」を開催しました。平成21年にも、クインテット（五重奏）で来館し、会場を沸かせた西藤ヒロノブ JAZZ WORLD。今回の出演者は、前回の顔ぶれにない4人。西藤さんの活動拠点であり、JAZZの本場でもあるニューヨークで一緒に演奏している、ミルトン・フレッチャーさん（ピアノ）、マルコ・パナシアさん（ベース）、ジョン・ランプキンさん（ドラム）を迎え、西藤さんのオリジナル曲を多数演奏しました。

カルテット（四重奏）ならではの繊細で迫力ある演奏が、まるで異空間を思わせるような空気を作り出し、会場全体を包み込みました。観客も手や足でリズムを取るなど、それぞれの楽しみ方で満喫していました。三股を皮切りに始まった全国9カ所のツアー。大事な一歩を大盛況で終えることができました。

「かもしれない運転」への転換

その日もいつもと同じように夜のドライブを楽しんでいました。その道路は交通量も少ないためドライブコースとして最適で、事実、雑誌にも推奨ルートとして掲載されているような道路です。

約2キロほどある直線道路に差しかけたため、対向車がないことを確認し2台の車を一気に追い越しにかかりました。しかし、そこには前方道路下をボートが通る水路が横切っており、道路が一部分盛り上がりつついて対向車のライトが見えなかったのです。そして、場所も思っていた所ではなく、直線道路も300メートルほどしかありませんでした。追い越しの途中で突然現れた対向車を避けるため2台目を追い越しかかっていたわたしは、懸命に1台目と2台目の間に割って入ろうとしましたが、完全に戻りきることはできずに対向車と正面衝突してしまつたのです。さらに悪いことに、わたしの車はその場で止まりましたが、対向車は180度回転し後方から来た4台車と正面衝突したのです。4台車はノーブレーキだったため約10メートルほど車を押しました。この事故で助手席の男性が亡くなり、運転席の女性も重症を負われました。わたしはシートベルトとエアバッグのおかげでむち打ち症程度

のけがで済みました。

事故後、何度も何度も当時のことを振り返りました。なぜあの場所で追い越しをかけたのか。別に急いでいたわけではありません。

理由の一つとして、直線の長い場所へ来たという勘違いがあります。もう一つの理由として、この道は空いているという思い込みがありました。俗にいう「だらう運転」です。直線の長い場所に来ただろう、対向車は来ていないだろう、と漫然と追い越しをかけてしまつたのです。ここで「かもしれない運転」をしていれば事故は防げたかもしれません。対向車も来ているかもしれない。言葉では分かっているかもしれない、慎重に運転することができていませんでした。

もう一つの原因は、自分の運転技術としての車の性能を過信していたということです。わたしも含めて事故を起こした車はスポーツカーが多いというのは、過信が原因だと思っています。車の性能がよいために慎重な運転をしていないのです。

この文を読んだ人は、ぜひひとことから「かもしれない運転」を心掛けてください。わたしのようにならぬ事故を起こしてからでは遅いのです。一生罪を背負って生きていくことになりません。

裁判の結果、懲役1年6カ月の実刑判決となり、刑務所で刑を務めています。周

●図書館まつり

毎年10月27日から11月9日までは、秋の読書週間となっています。また、読書週間が始まる10月27日は、「文字活字文化の日」に制定されています。

今年の読書週間標語は、「信じよう、本の力」。最近、日が暮れるのも早くなってきましたが、「秋の夜長」に読書を楽しんでみてはいかがでしょう。

図書館では、この期間に、いろいろなイベントを計画しています。また図書館に来たことのない人も、いつも利用している人も、皆さん、ぜひ、図書館に遊びに来てください。

・貸出体験

10月27日（木）～11月11日（金）の期間、小学生以下の子どもたちは、パソコンを使って、自分で借りる本の貸し出し処理を体験することができます。

・池田知聡講演会

11月6日（日）午後2時～



毎回人気の貸出体験コーナー！



親子で楽しんだ、
昨年の「ぶどうの会」によるおはなし会の様子



©問い合わせ
三股町立図書館
〒889-1901 三股町大字樺山3406-8
TEL.51-3200 FAX.51-3751

宮崎市出身の声優、池田知聡さんを図書館に招き、講演会が開催されます。

池田さんは、アニメ「クレヨンしんちゃん」「忍たま乱太郎」などに出演しています。また、現在、SAL A・エンターテインメントアカデミー宮崎校で講師もしています。

・おはなし会

11月6日（日）午前11時～

「ぶどうの会」に、楽しい話をたくさんしてもらいます。親子連れでの参加をお待ちしています。

・館内展示

三股町立文化会館の開館10周年にちなみ、「広報みまた」の10年を振り返りかえる展示を行います。

休館案内（17時から）のカレンダー1月曜日（祝日の時はその翌日）・祝日・年末年始（12月28日～1月4日）・第3水曜日（館内整理日）・館内資料一斉点検（年1回15日以内）

外国語指導助手のコーナー

哲学からみた、
日本と西洋の
違い

昔、大学のころ、音楽学校のオーディションでつらい目にありました。その結果、ぼくの専門は哲学になりました。特に、分析哲学に力を注ぎました。

西洋では、哲学は主に論理的な論法で構成されています。普通は、哲学は書いた議論や随筆と講演で構成されます。さらに、抽象的な考えは、数学に似た「記号論理学」という言語で表現されます。

しかし、哲学に関して、日本の取り組み方は少し違うと思います。日本では、哲学は実践することです。つまり、文芸と詩文によって思想を表現することのようです。例えば、ぼくの素人っぽい意見では、白隠慧鶴は日本の実行する哲学の典型であると思います。西洋に反して、彼の公案と詩文と書道は、このような論理的な考え方を超越しました。

この二つの様式は、表裏一体のように両立しないのに、両方の取り組み方はとてもおもしろいと思います。しばしば、音楽学校の失敗もうれしく思い出されます。



クリストファー・ラプトン

子どもたちに夢と豊かな心を 第1回 スポーツ特別講演会



8月12日、町スポーツ特別講演会実行委員会（蓬原正嗣会長）は、「第1回三股町スポーツ特別講演会」を町立文化会館で開催しました。



子どもたちに夢を与えるとともに、スポーツが日常生活に根付き、心の豊かさや地域のさらなる元気を作っていかうと、今年初めて開催されたものです。

三股中学校の生徒やスポーツ少年団員など、約400人が参加した本講演会。講師に本町出身のプロボクサーで、日本王座3階級を制覇している湯場忠志選手を招き、「あきらめない心」と題して講演がありました。湯場選手は、「勝ちたい」という強い気持ちを持つことが大事。苦しい時を乗り越え、成し遂げた時の達成感は何ものにも変えられない」など、ボクシングから学んだ数々の経験談を講話。参加者は皆真剣に聞き入っていました。

その後、スポーツ少年団の子どもたち十数人が舞台へ上がり、湯場選手の指導のもと、グローブを付けてのパンチや縄跳びなどを体験。子どもたちの目は終始生き生きと輝いていました。



三股西小学校
6年生
亀田 仁くん

「湯場選手からパンチやステップを直接教えてもらい、とてもうれしかったです。今日学んだことをずっと忘れず、これから練習を頑張りたい」

エコジョーボランティア 美化の輪を広げよう



8月28日、町社会福祉協議会と町ボランティア連絡協議会は「エコジョーボランティアinみまた」を開催しました。今年で16回目の本会は、環境美化を通して自然を愛するボランティアの輪を広げようと毎年開催されるものです。

参加者は、高齢者クラブやボランティアグループなどの団体、個人合わせて569人。上米公園や河川敷など21会場に分かれ、ごみ拾いや草刈りに汗を流しました。また、集まったごみはトラック4台分にもなりました。



町手話サークル代表
榎田あつ子さん

「皆で参加することで、ごみ拾いだけでなく、情報交換など交流も深めることができ、大変充実した時間になりました」

梶山小いかだ下り大会 地域と学校の連携



自然の中で子どもたちの豊かな心を育てようと、梶山小学校PTA（緒方裕士会長）は、8月21日、矢ヶ淵公園めがね橋下で「梶山小学校いかだ下り大会」を開催しました。

今年で8回目を迎える本大会には、児童保護者合わせて54人が参加。1チーム6人で構成された計9チームが、約250mのコースでタイムを競い合いました。

本大会にあわせ、各チームは手作りのいかだを作製。貴重な体験をした子どもたちは終始笑顔が絶えませんでした。



参加者（6年生）
横川梨帆さん
川越望未さん

「漕ぐのは大変で、ひざが痛くてかきくきました。でも、皆でかけ声を出し合ったり、とても楽しかったです」

和牛共進会で優等一席 「けいの18」号



8月5日、都城地域家畜市で開催されたJA都城主催の「8月期都市和牛共進会」で、園田鎮也さん（小鷲巣生産の「けいの18」号が見事優等一席に輝きました。

共進会には、本町と都城市から各地区予選を勝ち抜いた雌牛41頭が出場。「けいの18」号はほかに比べ発育・体の伸びがよく、体積に富んで、品位が優れていると高く評価されました。

よく運動をさせ、のびのび育てることを大切に、家族一丸となって愛情を注いだ結果の受賞。園田さんは「夢のような結果にびっくりしました。皆さんのご指導、ご協力のおかげです。これからもより一層の愛情を注いでいきたい」と笑顔で話しました。

「みまたん里の芋」大健闘 ご当地グルメコンテスト



8月27日、「MRT感謝祭」市町村対抗ご当地グルメコンテスト」がMRTmicで開催されました。本コンテストには、県内20市町村が出場し、本町も1チームを編成して出場。5月から町内農家・よかもんや・町が手を取り合いながら商品開発に励み、本町チームは、三股産のサトイモをふんだんに使った「みまたん里の芋揚げボール」で挑みました。

審査は、来場した客が好きなメニューに投票するという方式。結果、11位と健闘し、何度も足を運ぶ客の姿も見られるなど、本コンテストを通じて「三股産サトイモ」を県内に広くアピールすることができました。



日赤「災害救援車」を寄贈 安心安全のために有効活用



日本赤十字社宮崎県支部より「災害救援車」が寄贈され、8月1日、役場玄関前で贈呈式が行われました。

式では、宮崎県支部丸山文民事務局長から目録が贈呈され、木佐貫辰生三股分区分長は「日ごろから災害時の救援物資の支援など、町民の安心・安全への貢献に感謝します。贈呈いただいた車両は、災害や火災時の支援などに有効に活用させていただきます」とあいさつを述べました。

今回贈呈を受けた車両は、三股町分区分で災害時の救援物資の配布、避難所への誘導、広報や研修会などといった、町民の皆さんの安心・安全な暮らしを守る地域福祉活動車両として、今後広く有効に活用されます。

さらなる迅速な対応が可能に 国交省と災害協定



大規模な災害の発生、また発生する恐れがある場合に備えて、被害の拡大や二次災害の防止などを目的として、本町と国土交通省九州地方整備局は「三股町における大規模な災害時の応援に関する協定」を締結。9月5日、役場でその調印式が行われました。

これにより、台風、土砂災害や新燃岳噴火などで災害発生の際の恐れがある場合に、国からの職員の派遣や防災機器の配備といった支援を直接受けることができるようになります。より迅速な対策が取れるようになります。

町は、今後も国や県との連携を図りながら、町民の皆さんが日ごろから安心して暮らせるように災害対策を行っていきます。

子育ての輪を広げよう 地域のみんなが パパとママ

8月21日、町は「みまたん子育て応援フェスティバル」地域のみんながパパとママ」を元気の杜で開催しました。

これは、子育て中の保護者やそれを支援する団体が集まり、遊びなどを通して、子育ての輪を地域へ広げていくことを目的に開催されたものです。ステージでは、MRTラジオでおなじみ「ゆっこ」こと西田裕子さんの元気な司会のもと、本町の元国際交流員で、現在テレビで大活躍中のジェイミーさんとの英会話クイズ、



場内には、参加者同士の交流、そして世代を越えて地域の人たちとふれ合う姿があらこちから見られ、終始活気に満ちあふれていました。



参加者
宮木直行さん
小松進治さん
江理子さん
月花蒼くん
珀くん

「子育て中のわたしも、こういった場があると、心にゆとりを持つことができます。竹を使ったそうめん流しは、家でできませんし、三世代皆で楽しんでいます」



「恵の森」植樹参加者募集

森林には、良好な景観、教育・学術研究の場所といったたくさんの働きがあります。さらに、洪水や渇水を防ぎ、おいしい水を提供してくれます。また、自然災害を防ぎ、気象の緩和などの働きや二酸化炭素の吸収、地球温暖化の防止など、わたしたちの生活環境を守る大切な働きをも持っています。

そこで町壮年連絡協議会は、町有林伐採跡地に町内に昔から自生する樹種を中心に植栽し、豊かな自然を次代に引き継いでいくため、「恵の森」づくりを次のとおり行います。

そのため、一緒に植栽を行う「植栽ボランティア」を募集します。皆さんの参加をお待ちしています。

- 内容＝ボランティアによる植樹
- 日時＝11月6日（日）
午前8時30分～11時
- 場所＝町有林（大字長田字佐渡脇）
- ※林道入り口から植樹場所まで2*。
- 集合場所＝長田小学校
- ※駐車場は、第5地区分館100台・長田小学校50台をご利用ください。
- 募集人員＝250人～300人
- ※健康な人であれば誰でも参加できます
- 参加費＝無料
- ※ただし、飲み物や軍手、スコップなどの道具は各自で持ってきてください
- 申込締切＝10月25日（火）午後5時まで
- 申し込み・問い合わせ
三股町壮年連絡協議会事務局（教育課生涯学習係内）
☎52-1111（内線431）
FAX 52-9724

平成24年三股町成人式の開催

平成24年の成人式を次のとおり開催します。

- 日時＝平成24年1月5日（木）
午前10時30分～11時30分（予定）
- 会場＝町立文化会館
- 受付＝午前10時～
- 対象＝平成3年4月2日～平成4

年4月1日の間に生まれた人
※新成人者には10月中旬に文書で案内します。

なお、就職・進学により三股町から転出した新成人者についても、家族が町内在住であれば文書をお送りします。

■問い合わせ

教育課 生涯学習係

☎52-1111（内線433）

平成24年三股町成人式の発表者募集

町では、平成24年1月5日（木）実施予定の成人式で、新成人者を代表しての意見発表、町民憲章朗誦、成人証書授与をしていただける人を募集しています。

20歳の記念に、応募してみませんか。
なお、申し込み多数の場合は選考となります。

- 日時＝平成24年1月5日（木）
午前10時30分～11時30分（予定）
- 会場＝町立文化会館
- 内容＝
 - ・意見発表（1人）
新成人者としての決意・抱負を400字づつ原稿用紙3枚程度にまとめ発表します。
 - ・町民憲章朗誦（1人）
新成人者を代表して町民憲章を朗誦します。
 - ・成人証書受領（男女各1人）
新成人者を代表して成人証書を受領します。

■募集締切＝11月4日（金）

■問い合わせ

教育課 生涯学習係

☎52-1111（内線433）

合同金婚式のご案内

社会福祉協議会では、共に助け合い、励まし合いながら手を取り合って50年を過ごされてきたご夫婦をお祝いし、これからも健康で幸せな生活を送られることを願い、合同金婚式を開催します。

昭和36年12月31日までにご結婚されたご夫婦で、またはそれ以前の結婚で

合同金婚式に申し込みをされたことがないご夫婦のご連絡をお待ちしています。

また、そのようなご夫婦をご存知の人は、ぜひご連絡ください。申し込みをされた人には後日、詳細な文書をお送りします。

■日時＝11月22日（火）

午前10時～11時30分

■場所＝町総合福祉センター「元気の杜」

■申込期限＝10月21日（金）

■申し込み・問い合わせ

町社会福祉協議会

☎52-1246

九州大学による住民講座「エバーグリーンセミナー」の開催について

都城北諸県圏域の地域振興を図るため、三股町・都城市・南九州大学の三者が協働して行う講座「エバーグリーンセミナー」を開催します。

回	月日	時間	内容・講師
第1回	11月26日（土）	午前10時～正午	「雞山を作ろう」 南九州大学 環境園芸学部 永松義博 教授
第2回		午後1時～3時	「土壌のはたらき」 南九州大学 環境園芸学部 柳 由貴子准教授
第3回	12月10日（土）	午前10時～正午	「侵入害虫の脅威」 南九州大学 環境園芸学部 新谷喜紀 准教授
第4回		午後1時～3時	「春野菜の栽培の楽しみ方」 南九州大学 環境園芸学部 川信修治 教授

■会場＝南九州大学キャンパス内講義棟（都城市立野町）

■対象者＝三股町・都城市在住者

■定員＝30人（応募多数の場合、抽選）

■費用＝2,000円（4回分）

※第1回受講時に集金し、それ以降、返金はいたしません。

※各自昼食をご準備ください。

※実習用具などは大学側で準備しますので、お気軽に参加ください。

■申込方法＝申し込みは、はがきに住所、氏名、電話番号を明記のうえ、11月1日（火）（必着）までに下記までご送付ください。

■申し込み・問い合わせ

〒885-8555

都城市役所経営戦略課内

都城・三股広域行政推進協議会事務局

☎23-2115

平成23年分年末調整説明会を開催します

12月は、給与などに係る源泉所得税の年末調整の月です。

都城税務署では、次の日程で年末調整説明会を開催します。

開催日	時間	対象者
11月17日（木）	午前10時～11時30分	郵便番号「885-0001」～「885-0079」までの法人・個人
	午後1時30分～3時	郵便番号「885-0081」～「885-1312」、郵便番号「889-1801」～「889-4602」までの法人・個人
会場	都城市総合文化ホール 都城市北原町1106番地100 ※ <u>昨年の会場とは異なります</u>	

詳しくは、都城税務署までお気軽にお尋ねください。

■問い合わせ

都城税務署法人課税第1部門

☎22-4383

10月は土地月間です

国土利用計画法では、一定面積以上の土地売買などを行った場合、土地の権利取得者は契約後2週間以内に土地の所在する市町村長を経由して知事に届け出ることが義務付けられています。山林なども届け出の対象です。

土地の有効利用実現のため、町民の

皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

■届け出が必要な土地の面積＝

①市街化区域…2,000平方メートル以上

②①以外の都市計画区域…5,000平方メートル以上

③都市計画区域外…1万平方メートル以上

■問い合わせ

地域政策室 地域政策係

☎52-1111（内線222）

NPOなどの活動をスキルアップする講座へ参加してみませんか

本町を含む県西地区で活動されているNPOなどの財政・運営基盤の強化を図るために、個別の相談受け付けや講座を開催します。指導料・受講料は無料です。

ぜひこの機会にご参加ください。

■有識者派遣による個別指導（要予約）＝NPOなどが抱える問題解決のため、有識者を派遣・個別指導を行います。

■講座の開催（募集人員に限りがあります）＝IT活用講座、資金マネジメント講座、NPOや行政を対象とした協働に関する講座、ボランティアコーディネータ研修

※日時・場所など、詳しくはお問い合わせください。

■申込受付＝講座の申し込みは、先着順となります。

■申し込み・問い合わせ

特定非営利活動法人エコワールド
きりしま（小林市役所第三別館2階）
☎0984-27-3101

※この講座などは、宮崎県が実施する「宮崎県新しい公共支援基金事業」により実施されます。

平成24年度新入学予定児童の健康診断のご案内

翌年4月に小学校に入学する児童の健康診断を行います。詳しくは、保護者へ直接お知らせします。

■実施日・場所＝

・三股西小学校／10月27日（木）
（受付時間）午後1時30分～1時50分、同体育館

・三股小学校／11月10日（木）
（受付時間）午後1時30分～1時50分、同体育館

・勝岡小学校／11月14日（月）
（受付時間）午後1時30分～1時50分、同体育館

・梶山・宮村・長田小学校／11月17日（木）
（受付時間）午後1時30分～1時50分、健康管理センター

■注意＝

入学予定校の実施日に都合が悪い場合は、別の学校でも受診できますが、必ず事前に教育課学校教育係へご連絡ください。

宮村小学校は、健康診断終了後、標準服の採寸などがあります。

■問い合わせ

教育課学校教育係

☎52-1111（内線423）

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございます。

三股町社会福祉協議会
平成23年8月1日から31日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
福井 淳子	夫	茂 人	64	仮屋	3万円
菅松 新子	母	出水キク	103	大鷲巢	3万円
小牧 尚	妻	フミエ	81	轟木	3万円
原村 忠則	母	クニ子	97	下新	3万円
別府 一夫	母	綾 子	88	小鷲巢	3万円
東 節雄	父	泰 美	94	前目	5万円
園田ハツ子	夫	巳 典	83	梶山	3万円
飛岡 順子	父	上山春夫	77	轟木	3万円
迫田登美男	母	ハツ子	85	梶山	3万円
橋口 勝	父	一 男	86	今市	2万円
中原 行春	母	ハツエ	95	谷	5万円
福田 節	妻	ミキエ	82	上米	3万円
下西アイ子	夫	政 則	91	上米	5万円

Children

子ども

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●赤ちゃん健診

■期日＝11月4日（金）

■受付＝午後1時～1時30分

※11月のみ、第1金曜日に開催します。

●マザークラス・パパママ教室

■期日＝1回目／10月11日（火）

午後1時30分～3時まで

2回目／10月25日（火）

午後1時30分～3時まで

3回目（パパママ教室）／10月30日（日）

午前10時～正午まで

■内容＝1回目／妊娠中の生活、栄養、妊婦体操

2回目／呼吸法、補助動作

3回目／パパの妊婦体験、沐浴練習

■持ってくるもの＝母子手帳、体操のできる服装

●BCG予防接種を受けましょう。

結核は、患者数は減少しましたが、現在でも毎日新しい患者が増えています。感染しても元気な人は免疫によって結核菌の活動を抑えられますが、過労、睡眠不足、栄養不足などで抵抗力が弱まると発病します。

予防するためには規則正しい生活を心掛けること、毎年健康診断を受けることが大切です。

子どもについては、結核の発病と重症化を予防するためのBCG予防接種があります。町では生後2か月～6か月未満の子どもを対象に指定医療機関で接種できます。対象となる期間が短いので、早めに接種しましょう。

子育て支援センターからのお知らせ

●子育て支援センター ☎52-8101

<お知らせ>

長い期間、子育て支援センターの改修工事に伴い、午前中のセンター開放をお休みしていましたが、10月から再開します。遊びに来てください。

●友だちつくろう！一緒にあそぼう！

■期日＝10月20日（木）

■時間＝午前10時～11時

子育てサークル「いもん子クラブ」さん

●親子ふれあいコンサート

■期日＝10月25日（火）

■時間＝午前10時～11時

General

一般

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●リズムウォーキング

■期日＝10月17日（月）

■時間＝午前11時～正午

●10月10日は「目の愛護デー」

最近の生活は、テレビ、ゲーム、パソコンなどに囲まれて目を酷使することが多くなっています。また、コンタクトレンズの使用などでまばたきの回数が減り、ドライアイになる人が増えています。

目が疲れやすい、不快感がある、乾いた感じがする、重たいなどの症状はありませんか。目の不調を感じたら眼科を受診しましょう。日常生活を見直すことで症状が軽減されることもあります。この機会に目の健康について考えてみましょう。

●がん検診を受診しましょう。

がんは昭和56年から死因の第一位となり、現在でも約3割の人が亡くなっています。現在では治るがんも増えており、早期発見・治療がとても大切です。

町のがん検診は指定医療機関で受診する個別検診です。医療機関一覧表は役場案内（1階）と健康管理センターにあります。元気でいきいきとした毎日を過ごすために、ぜひ検診を受けましょう。

●在宅歯科医療連携室がオープンしました！

入れ歯・むし歯・歯周病など、お口のお手入れで困っていませんか。口の中が乾いたり、最近食べ物が飲み込みにくいと感じたりしていませんか。

歯科医院へ通院できず、むし歯・入れ歯などで困りの人に対して、自宅・施設・病院などへ訪問し、歯科の診療や口腔ケアを行います。都城市北諸県郡歯科医師会から、歯科医師や歯科衛生士を派遣します。ご希望の場合は、在宅歯科医療連携室へご相談ください。

【連絡先】都城地区在宅歯科医療連携室

☎080-1760-1349 FAX 0986-24-1610

（受付時間：月曜～金曜 午前9時～午後3時）

町福祉・消費生活相談センターからのお知らせ

●町福祉・消費生活相談センター ☎52-0999

●「法律相談」（無料）について

センターでは、5月から奇数月に無料法律相談を開催しています。

■日時＝11月7日（月） 午後1時20分～4時10分

■場所＝町福祉・消費生活相談センター

（旧シルバー人材センター）

■内容＝消費生活上のトラブルや多重債務などの金融貸借、土地、家屋、相続、離婚にかかわる法律的な問題について、弁護士が考え方や解決方法などをアドバイスします。※個人の秘密はかたく守られます。

■申込方法＝事前の予約が必要ですので、相談を希望する人は、必ず1週間前までに、電話または来所してお申し込みください。※予約制で、定員5人までです。

Advanced age

高齢者（介護保険）

社会福祉法人が提供する介護保険サービスの利用者負担軽減について

●介護高齢者係（内線162・163）

介護保険サービスを利用する場合、利用者負担は利用料全体の1割となっています。しかし、一定の条件に該当する人で生計が困難であると町が認めた人は、社会福祉法人が提供するサービス（訪問介護、通所介護など）について1割負担が25%軽減されます。

軽減されるかの判定を受けるには、申請が必要です。

■対象者の要件＝次の①～⑥の基準をすべて満たす人のうち、収入や世帯の状況、利用者負担などを総合的に考慮し、生計が困難だと三股町が認めた人

①住民税世帯が非課税であること

②介護保険料の滞納がないこと

③負担能力のある親族などに扶養されていないこと

④年間収入が単身世帯で150万円（世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額）以下であること

⑤預貯金などの額が単身世帯で350万円（世帯員が1人増えるごとに100万円を加算した額）以下であること

⑥世帯が居住するための家屋、そのほか日常生活のために必要な資産以外に活用できる資産を所有していないこと

■認定されると＝審査の結果、該当者には「社会福祉法人等利用者負担軽減確認証」を交付します。有効期間は、認定された月の初日から平成24年6月30日です。

サービスを利用する際に、利用する施設に「確認証」を提示すると、軽減されます。

■利用できるサービスの種類＝

・社会福祉法人などが提供するサービス
訪問介護（※）、通所介護（※）、短期入所生活介護（※）、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護（※）、小規模多機能型居宅介護（※）、地域密着型介護老人福祉施設生活介護、介護老人福祉施設サービス（※は介護予防サービスを含む）

■軽減できる利用者負担の内容＝
介護費負担（1割負担）、食費・居住費

■申請に必要なもの＝次のものを持って、福祉課介護保険⑥番窓口で申請してください。

ア 申請者（対象者）と同世帯全員の預金通帳（定期含む）、印かん

※通帳は必ず最新の状況を記帳してからお持ちください。

イ 申請者（対象者）の年金額支払通知書・健康保険証

※有価証券・債権などの保有状況も申請時に確認します。

地域包括支援センターからのお知らせ

●町地域包括支援センター ☎52-8634

●高齢者の虐待を知っていますか？（その2）

高齢者虐待に関する調査では、高齢者虐待における特徴のひとつに、高齢者の介護や世話をしている半分以上の人が虐待の自覚がないという結果が出ています。知らないうちに不適切な対応になっていないか、次の項目をチェックしてみましょう。

・言うことを聞かないので、手が出たり、ののしったりしてしまう。

・言うことを聞かないので、口を聞かない。

・介護や世話が大変なので、世話をしない。

・良いこと悪いことを分かってもらうため、たたくなどしてしつけをしている。

・認知症で徘徊するので部屋に閉じ込めている。

・認知症や寝たきりのお年寄りがいて外間が悪いので外出させなかったり、本人を訪ねてくる人があっても会わせないようにしている。

・年金手帳、預金通帳などを管理し、本人に無断で使う。

・経済的に苦しいので、病院へ連れて行くことを控えている。

・人前でオムツを替える。

・下半身を裸にしたまま放っている。

いくつかチェックがついた人は今後の介護や世話について相談してみましょう。

「虐待するなんて、ひどいヤツだ」わたしたちはそう思いがちです。しかし、高齢者虐待が起こる背景には、いろいろな要因があります。適切な介護の仕方や認知症への対応が分からないために、つい手をあげてしまう。介護負担に加え、経済的困窮があるとき、わたしたちは「絶対に虐待しない」と言い切れるでしょうか…

介護に困ったら、もしかしたら虐待かもしれないなど、…相談窓口は町地域包括支援センターです。

※ 次回（その3）に続きます。

●足もと元気教室【10月15日～11月14日の日程】

地区名	時間	場所	日程
1地区	午前9時30分～11時	第1地区分館	10月21日(金) 11月4日(金)
2地区	午後1時30分～3時	2地区交流プラザ	11月1日(火)
3地区	午後1時30分～3時	第3地区分館	11月10日(木)
梶山	午前9時30分～11時	第4地区分館	10月19日(水)
轟木	午後1時30分～3時	轟木集落館	10月28日(金)
前目	午後1時30分～3時	前目研修館	10月19日(水)
夢池	午前9時30分～11時	夢池児童館	10月20日(木) 11月10日(木)
餅原	午後1時30分～3時	餅原研修館	10月17日(月)
今市	午前9時30分～11時	今市児童館	11月7日(月)
中原	午前9時30分～11時	中原コミュニティセンター	10月26日(水) 11月9日(水)
8地区	午前9時30分～11時	第8地区分館	10月28日(金)
植木	午後1時30分～3時	西植木コミュニティセンター	10月26日(水) 11月9日(水)

※準備するもの＝体操のできる服装、シューズ、水分補給用の飲み物



◎ 今月の表紙

『温故“造”新』



魔法の玉手箱

以前はインターネットもなく、現代に比べると便利ではなかったかもしれませんが、人と人が顔を合わせ、行き交う中ではぐくまれた「人と人とのつながり」や「人と地域とのつながり」。それらを大切にしながら、一方で新しいものに挑戦していく。その積み重ねがまちの未来を作るのです。

みまた 暮らしのカレンダー

1.October ~ 7. November 2011

※診療時間 午前9時～午後6時

※やむを得ず変更する場合がありますので、☎23-5555でご確認ください。
(※夜間／都城救急医療センター☎39-1100)

※歯科については☎25-4100に問い合わせてください。

◎10月の予定

1	土		
2	日	◎坂元医院(内・胃)	☎22-0360(牟田町)
		◎児玉小児科(小)	☎25-5570(花線町)
		◎とくとめクリニック(内・歯・酒)	☎26-1820(上長坂町)
		◎池之上整形(整・リハ・リウ)	☎23-2311(上川東)
		◎メディカルシティ東部病院(外)	☎22-2240(立野町)
3	月	◎すみ産婦人科(産・婦)	☎23-1152(東 町)
		・不燃物	・図書館休館日
		・可燃物	
		・缶・びん	
		・可燃物	
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日	◎野辺医院(内・胃)	☎22-0153(上 町)
		◎富田医院(内・小)	☎23-4586(栄 町)
		◎長倉医院(内)	☎52-2109(三股町)
		◎仮屋外科(外・胃・内・肛門)	☎25-7712(志比田町)
		◎酒井皮膚科(皮)	☎25-5322(北原町)
10	月	◎永吉眼科(眼)	☎22-1530(姫城町)
		◎山内小児科(小)	☎22-0048(上 町)
		◎ケイオークリニック(内・小)	☎46-4500(一万城町)
		◎松山医院(内・呼吸・リウ)	☎24-1046(上川東)
		◎福田クリニック(外・歯・内)	☎46-1122(豊原町)
11	火	◎姉川医院(皮・泌)	☎22-2205(小松原町)
		◎丸田病院(産・婦)	☎23-7060(八幡町)
		・不燃物	・図書館休館日
		・可燃物	
		・不燃物	
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	◎宮永病院(内・胃・外)	☎22-2015(松元町)
		◎鶴木内科医院(歯・内)	☎26-0008(花線町)
		◎政所医院(内・小)	☎58-2171(高城町)
		◎飯田整形外科クリニック(整)	☎46-5115(上 町)
		◎都北岐阜クリニック(胃・内・外)	☎38-6060(都北町)
17	月	◎ふたみ眼科(眼)	☎38-5532(都北町)
		・不燃物	・図書館休館日
		・可燃物	
		・可燃物	
		・水	・図書館休館日
18	火		
19	水		
20	木	・缶・びん	

21	金	・可燃物	
22	土		
23	日	◎共立医院(内)	☎22-0213(蔵原町)
		◎戸嶋病院(内)	☎22-1437(郡元町)
		◎山田医院(内・小・リウ・アレ)	☎64-2816(山田町)
		◎とまり内科外科胃腸科(内・外・胃)	☎52-1135(三股町)
		◎小牧病院(整)	☎24-1212(立野町)
24	月	◎きたむら皮膚科クリニック(皮・ア)	☎38-7300(吉尾町)
		・不燃物	・図書館休館日
		・可燃物	
		・水	
		・トレイ・ベット	
25	火	・可燃物	
26	水		
27	木	・トレイ・ベット	
		・可燃物	
28	金	・可燃物	
29	土		
30	日	◎城南病院(小・内)	☎26-3662(大王町)
		◎あきと内科胃腸科(内・胃)	☎46-5500(都原町)
		◎大岐医院(内・胃・外)	☎57-2025(山之口町)
		◎よしかわクリニック(麻・整・内)	☎23-9384(前田町)
		◎一心外科(外・胃・肛門・内)	☎52-7788(三股町)
31	月	◎岩下耳鼻咽喉科(耳鼻)	☎51-1187(三股町)
		・図書館休館日	
		・不燃物	・図書館休館日

◎11月の予定

1	火	・可燃物	
2	水		
3	木	◎藤元上町病院(内)	☎23-4000(上 町)
		◎黒松病院(内)	☎38-1120(金田町)
		◎海老原内科(内・小)	☎64-1211(山田町)
		◎川畑医院(外・胃)	☎46-3225(年見町)
		◎ならはら皮膚科(皮膚)	☎22-1455(志比田町)
4	金	◎たき心療内科(心・内・精・神内)	☎46-9191(若葉町)
		・図書館休館日	
		・可燃物	
5	土		
6	日	◎村上クリニック(歯・内)	☎25-2700(宮丸町)
		◎柳田病院(小・内)	☎22-4862(東 町)
		◎みしま内科クリニック(内・歯)	☎51-8100(三股町)
		◎橘整形(整)	☎23-7236(中 町)
		◎土井外科(外・胃・内)	☎22-1825(上東町)
7	月	◎吹上耳鼻科(耳鼻)	☎21-4133(鹿 尾)
		・不燃物	・図書館休館日



◎赤の皿 エビ玉炒め

【主菜2つ(SV)】 242キロカロリ 塩分1.1グラム

材 料 エビ…40㊮、インゲン…30㊮、ネギ…20㊮、卵…1.5コ、塩コショウ…少々、油…小さじ1、(A)…(酒…小さじ1、塩コショウ…少々、ゴマ油…小さじ1/2)

作り方 ①エビは殻をむき、塩コショウする。②インゲンは食べやすく切る。ネギはみじん切りにする。③卵を割りほぐし、(A)で調味する。④フライパンに油を熱し、ネギとエビを入れて炒める。インゲンも加えて炒めたら卵を回し入れて好みの固さになるまで加熱する。

◎緑の皿 ダイコンのすし酢漬け

【副菜1つ(SV)】 41キロカロリ 塩分1.3グラム

材 料 大根…50㊮、ニンジン…10㊮、すし酢…小さじ2

作り方 ①大根とニンジンは4㊮長さの拍子切りにする。分量外の塩をふって軽くもみ、水気を絞る。②すし酢を回し入れ、一晚漬け込む。

◎緑・白の皿 キノコのミルクスープ

【乳製品1つ(SV)・副菜1つ(SV)】 107キロカロリ 塩分1.2グラム

材 料 ニンジン…10㊮、玉ネギ…20㊮、キャベツ…20㊮、ベーコン…5㊮、シメジ…20㊮、塩…小さじ1/5、黒コショウ…少々、水(またはだし汁)…100cc、牛乳…100cc

食事バランスガイドとは？

1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかをコマの形のイラストで分かりやすく示しています。「何を」とは、主食・副菜・主菜・牛乳乳製品・果物、の5つの料理グループ。「どれだけ」とは、1日の目安をそれぞれの料理グループごとに「つ(SV)」という単位で示しています。*「食事バランスガイド」は健康管理センターにおいてあります。

税

● 問い合わせ：税務財政課 TEL 52-1111(代) FAX 52-4944

10月31日(月)は納付期限です

● 納税管理係 (内線 144・145)

納付期限内に納付しましょう。

● 町県民税(3期)

● 国民健康保険税(4期)

※口座振替は10月25日(火)が振替日です。再振替は行っていません。24日(月)までに預貯金口座の残高確認をお願いします。

「納税相談」ご利用ください

● 納税管理係(内線 144・145)

税金は納付期限内に納めることが原則ですが、思わぬ事故や病気、失業など特別な事情があって納期内に納められないときは、印かんをお持ちになり早めにご相談ください。年度を繰り越す滞納とならないよう分割納付の相談や各種納税相談をお受けします。

・町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を！ ・この社会 あなたの税がいきている ・たばこは町内で買ひしょう

いきいき げんき!

毎月19日は食育の日

● 問い合わせ：健康管理センター ☎52-8481

～大人もいっしょに「食育」～

★たのしく・かしこく・きちんと食べる★

旬の食材は おいしい! 栄養価が高い! 安い! といったことづくしです。

旬の食材を使った健康バランス食を紹介します。ご家庭での献立にご利用ください。

10月の旬食材…サツマイモ

ビタミンB₁、C、カロテンなどが豊富で、調理による損失が少ないのも特徴です。肉質が紫色のものにはポリフェノールが多く含まれています。 ※材料は1人分です。

作り方 ①ニンジン、玉ネギは千切り、ベーコンは細切り、キャベツは短冊切りにする。シメジは小房に分ける。②鍋に具と水を入れ、中火にかける。③野菜が柔らかくなったら牛乳を加え、塩と黒コショウで調味する。

◎黄の皿 ごはん 150㊮

【主食1.5つ(SV)】 252キロカロリ 塩分0グラム

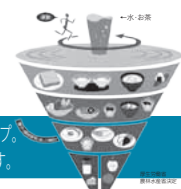
◎白の皿 大学イモ

(作りやすい分量[5人分])になっています。エネルギーは1人分です)

【副菜1つ(SV)】 104キロカロリ 塩分0グラム

材 料 サツマイモ…250㊮、砂糖…大さじ2、水…大さじ1、しょう油…小さじ1/4、酢…小さじ1/4、黒ゴマ…大さじ1/2、シナモンパウダー…少々、揚げ油…適宜

作り方 ①サツマイモは皮つきのまま1㊮の拍子切りか大きめの乱切りにする。5分ほど水につけ、その後水気をよくふく。②揚げ油が冷たいうちにイモを入れ、火をつける。③さかんに泡立った後、おさまってきたらイモを取り出し、油を切る。④別鍋にたれの材料を入れ中火にかけ、煮立ってきでブクブクの泡に色がついてきたらイモを入れ、手早く絡める。黒ゴマ、シナモンも絡める。



一 緒に紡ぐ夫婦の絆

「Mメイト通信」 クローズアップ まちをささえる人たち

上米在住
下西正子さん

お互いの思いやり

風 景画（上写真右側）のほか、七福神やだるま画など、数々の

文化刺しゅうを作り上げる下西正子さん（上米）。「当時、同僚に勧められた時はそれほど興味もなかったんです（笑）。でも、これがやってみるとおもしろくて」。趣味で始めて三十数年。糸乱れず施された縫い目と繊細な色使い。その技に誰もが目を奪われる。「今は主に洋服を編んでいます。認知症予防にもなり、人にあげて喜んでもらえることが何よりうれしいです」。現在、週一回通うミニバレーも楽しくて仕方ないと、正子さんは満面の笑みを浮かべる。

「こうやって趣味を楽しむのも、夫の理解と協力があつてこそ。感謝、感謝」と、正子さんは突然夫の幸和さんに両手を合わせる。すると幸和さんも腕を組んで大笑い。そんな2人は、夫婦という絶妙な間合いも編み上げている。

三股文芸

153

俳句

◆三股椿寿俳句会

手をひろげ 煙進みし子が 成長し 静かに祖父を 供養しており

去る七月上旬、夫の命日でお寺に行きました。線香の煙で描く輪に興味を示していた孫も、今はきちんと供養ができています。時の移ろいの早さを感じることでした。

冬瓜の思案の日々に置かれあり

山際 みどり

冬瓜(とうがん)を頂いたものの、物ぐさも手伝つてあれこれ考えながら、数日放置してしまいました。せっかくだつた人への申し訳なさと、新鮮なうちに頂かなかつた悔いが残りました。

出し忘れ溜りすぎたる風呂水の始末をするに電話鳴り出づ

岩崎民子

曼珠沙華 季節となれば 地を出でて

庭の片隅にあるいは田んぼのあぜに、その花の咲く季節となつてくると、突然芽を出し花を咲かせます。曼珠沙華(まんじゅしゃげ／ひがん花)です。この花は群生が特に美しいと思います。

やまた ひな
山田 姫奈 ちゃん（2歳）
◎平成21年3月19日生まれ
◎宏行さん・絵里奈さんの長女

まつやま
松山 皓喜 (2歳)
さゆ
紗悠 ちゃん (0歳)



わが家のお姫さま♡
これからも元気でやさしい子に育ってね！

◎平成21年1月20日生まれ
◎平成23年3月20日生まれ
◎陽喜さん・美穂さんの長男・長女
仲良し兄弟♡いつまでも元気に
スクスクと育ってネ！



お便りやイラスト、お子さんの写真を募集しています。

皆さんからのお便りを募集しています。普段、生活で感じたことや皆さんへのお願いごとなどを400字以内に、またアニメのヒーローなどをお書きのうえ、お送りください。

◎わが家の一番星

3歳以下のお子さんの写真とコメントを添えてお申し込みください。

■問い合わせ 地域政策室地域政策係 ☎52-1111

■茶じよけ

新しく生まれ変わった「みまたんえき」では、「みまたんえき周辺にぎわい検討部会」の有志たちが集まり、駅舎内の多目的ホールや広場などで各種イベントを開催しています。そこへ足を運んでみると、毎回部会員たちが思考を凝らし、ユニークなアイデアがいっぱい詰まっています。▽その中で、昨年12月に開催された「あそびばV・V・Aステーション」では、一万个の積み木で自由に遊べるコーナー、自分たちで犬や花など好きな形を作るマジック

バルーンのコーナーや、東京から招いたベーゴマ名人の指導による、ベーゴマ大会など、さまざまなコーナーが設けられていました。▽晴天に恵まれた青空の下、各ブースで自由に楽しむ親子の姿がとても印象的だったことを覚えています。そして、すぐ側を通る電車の窓から、その光景を笑顔で見ている親子を偶然に見掛けました。その親子は、たまたま通り掛かっただけかもしれませんが、電車の窓から見える三股のまちを見て、笑顔になってくれたのかなと想像すると、何だかこちらもうれしくなりました。

〈K〉

$$\hat{K}$$

◎町のおいたち

三股町にはいろいろ発掘される土器から、新石器時代より各所に人が住んでいたことがうかがわれます。また、その名の起源は「古くから川三股、川にならずに流れたり」と古書にあって、その名「三股」をとめてこのようにといわれています。徳川時代は薩摩藩に属し、明治初年五戸長は一島として、戸長役場と改称しました。当時の地頭三島庸公は荒涼たる原野に土木をおこし、産業を奨励し教育の振興をはかって村造りをなし、ここ三股の基礎が築かれたのです。

明治23年、町村制実施により三股村となり、昭和23年5月3日に町制を施行して名実ともに三股町として発足しました。以来自治の発展に努め、文化農村建設へと邁進し、今や数多くの企業誘致により町民の所得向上を図りながら町民参加型の「自立と協働で創る 元気なまち」を目指し、躍進しています。

◎町章

町の木「イチョウ」を図案化したもので、外形は丸く円満で輪、すなわち和やかさを表し無限を意味しています。

◎町の花／サツキ
◎町の鳥／ホオジロ
◎町の木／イチヨウ

三股町の人口
平成23年9月1日現在

11,600人・女/13,319人
24,919人・前月比+7人
数/9,897戸(±0戸)
主/24人・死亡/18人
主/87人・転出/86人

No.494
2011.10

発行・編集／地域政策室
〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1
TEL0986-52-1111 FAX0986-52-4944
URL <http://www.town.mimata.miyazaki.jp/>



「相手を思いやること」の大切さ。
2人の笑顔がそれを教えてくれる